

第31回理事会報告

(財)おかやま環境ネットワーク

日時：2006年8月19日(土) 10:00~11:45

出席：理事会=15名(内委任5) 監事：1名 議長：青山、議事録署名人：安場・由比濱

〔報告・承認事項〕

1. 2006年7月末決算報告、会費納入状況報告がありました。

7月末会費納入状況は、個人73・団体42・法人101・合計216会員で、昨年同期の209会員を上回っています。しかし、企業会員は、前年同期102会員に対して93会員の納入状況です。新規加入は団体で4(累計17)、個人で9(累計12)となっています。

7月までの収入は、事業収入は予算・前年ともに上回っていますが、会費収入がともに下回っており、収入全体では、予算比99.2%、前年比98.1%となっています。事業費は、衣笠基金を除くと予算・前年ともに下回っています。管理費も予算比95.8%、前年比94.4%となっています。当期収支は95万円の黒字で、予算比+137万円、前年比-6万円ですが、衣笠基金を除くと予算比+20万円、前年比+43万円です。
2. 事業などの報告がありました。

第5回維持会員総会の報告がありました。参加者は52名でほぼ前年並みです。毎日新聞で総会の状況が報道されました。

2006エコファミリー講座の中間報告がありました。参加者は75名で定員50名を大きく上回りました。申し込みはさらに多くの希望がありましたが、交通手段や宿泊施設の関係で、お断りをしています。総支出は75万円で、環境ネットワークの負担は29万円です。

2006環境講座「自然とくらし」の企画概要(最終確定版)と募集状況が報告されました。前回理事会の意見を踏まえ、「環境に関する法律と行政」のテーマを加え、全7講座としました。

2006企業環境塾の企画概要(最終確定版)が報告されました。前回と同様の6講座(12講義)+活動発表大会で構成されています。講座の内容は、前回は踏まえてより充実したものにしました。

災害に強い森林づくりのイベントについて報告がありました。2006年度は9月9日(土)に植樹した森林の下草狩りを実施します。
3. その他
環境情報学習プラザ(仮称)の論議状況について報告がありました。4名の事務局を中心に、設立趣意書・運営ルール・事業内容の検討をすすめてきました。現時点で具体化可能な事業は、環境情報インフラ事業と廃棄物版ESCO事業です。しかし、県から運営費の補助がなければ、環境情報学習プラザの採算見通しが立ちません。8月末に県より環境情報学習プラザについての基本的な考え方と支援のスキームが提示される予定です。それを受けて、今後の対応を検討します。

〔協議・決定事項〕

1. テーマ別講座の開講について提案があり、了承されました。テーマは「台所を出たプラスチックごみはどこへ行く？」で岡山大学名誉教授の阪田祐作先生にお話しをしていただきます。主婦層の参加をねらい、10月の平日の午前に開講します。なお、岡山大学産学官連携機構、おかやまコープに共催をよびかけます。
2. 第4回ホタルフォーラムの開催について提案があり、了承されました。10月28日(土)に矢掛町宇内地区で開催します。地元からの基調報告の他、高梁地域、鏡野町、岡山市田益地域の活動報告、川崎医療福祉大学教授の梶田先生からの講評と講演を予定しています。9月2日(土)のホタル連絡会で詳細を確定します。
3. おかやまエネルギーの未来を考える会より「第4期自然エネルギー学校INおかやま」、おかやまコープより「家族でできる フード&エコチャレンジ」の後援依頼があり、後援することにしました。